

「ガバナー補佐 所感」

国際ロータリー第2640地区IM6組

ガバナー補佐 貴多野 泰夫 (岸和田南ロータリークラブ)



今年度ガバナー補佐を拝命し、早や7ヶ月が経過し、補佐の役目もほぼ終盤に入りつつあり一寸ほっとしたところではありますが、私が担当させていただいた岸和田4クラブと貝塚2クラブの計6クラブを訪問させていただいた率直な感想はどのクラブもアゲンストの風が吹き会員減少に悩まされながらも本当に一生懸命クラブ活性化に取り組んでいる姿がありありと見られます。共通の悩みは会員の減少であり、それが経済的理由なのかロータリー活動のマンネリ化による減少なのか、こうすれば会員の増強につながるという決め手が見えずにいる様に思います。しかし現状のロータリークラブは財政的な面もさることながらむしろ活動がマンネリ化している様な面も見受けられ、その事が会員減少に拍車をかけている様にも思えます。

財政的な負担も大きく社会奉仕活動をするにも苦しい中で活動を行うにはどうすればいいのか？という事も停滞する原因かも知れませんが、これを打開するのは汗をかく奉仕活動をする以外にないと思います。金をかけずにその分は自分達が自ら動き汗をかくという事を会員一人一人が自覚し、その奉仕に参加する事がひいては会員同志の結びつきを強固にしクラブの活性化につながると思います。ただ会費を払って昼ごはんを食べに来る会員では決して活力あるクラブにはならないと思います。

今年度は特にCLP計画を押し進めクラブ組織をそれぞれのクラブに見合った組織に組み換えクラブ会員全員がアクティブに活動出来る様にしようというのがCLPだという事をどのクラブも理解して下さり議論を始められている事は活性化に向けた非常に意義のある取り組みだと思えます。担当させていただいた各クラブの方々からは異口同音に「会員は減ったけれどもかえってクラブのまとまりが良くなった。」という事もよく耳にします。訪問させていただいた各クラブは本当に心から歓迎して下さり恐縮しています。各ロータリークラブの奮闘ぶりをつぶさに見せていただきロータリーの素晴らしさを改めて感じた次第です。私も大いに勉強させていただき感謝しています。

(RI第2640地区マンスリーレター・2008年2月号より)